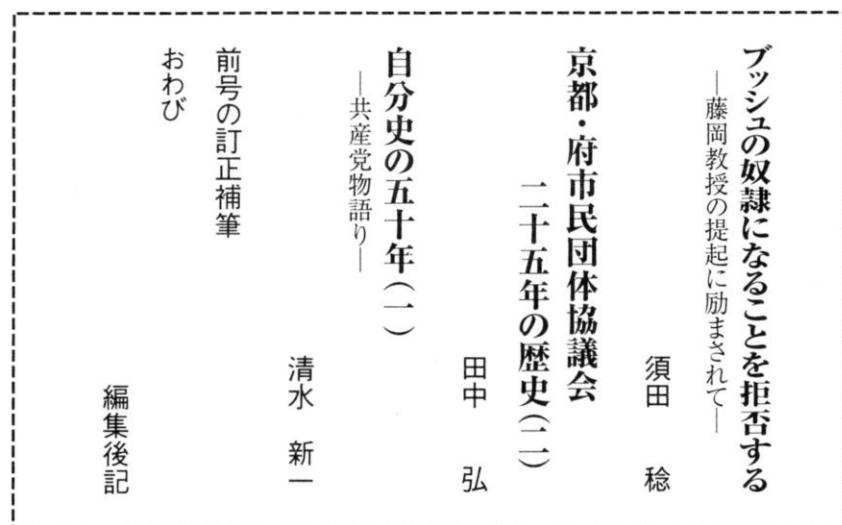




中村修三 画



ブツシユの奴隸になることを拒否する

—藤岡教授の提起に励まされて—

須田 稔

一八八六年、基本的人権を宣言し「民主主義国」として独立したアメリカ史一〇〇年を記念し友愛をこめてフランス人民が贈った自由の女神像。

その三年前に、一八七五年公民権法を違憲としていた最高裁は、一八九六年、隔離しても平等なら差別ではないと人種差別に合憲判決。一八九八年、スペインと戦端をひいたアメリカは、植民地争奪の帝国主義列強の一員に。そして第二次世界大戦終結後の戦争にてアメリカが関与しなかつた例はない、「自由陣営の領袖」は阿修羅王と化し、二〇〇一年九月十一日のあとは、あの女神像に替えてトーチを逆さにする死神タナトス像を建立したいのかと思うほどの狂暴の行状。

暗殺されるちょうど一年前、一九六七年四月四日、ニューヨークのリヴァーサイド教会で人種差別撤廃と結びつけてベトナム戦争

反対の立場を明確に表明したキン・グ牧師は、「私たちの政府は今日、世界最大の暴力調達人です」と演説。

二〇〇一年九月、テロの三日後、大統領に武力行使を認める特別決議を下院が採決したとき、ただ一人反対したアフリカ系アメリカ人バーバラ・リー議員。無辜の人々の命を奪う危険を伴う軍事行動のほかに選択肢があるのではないか、憎悪の根源に迫りテロを生まない方策があるではないか、捏造のトランキン湾事件で大統領に白紙委任したゆえのベトナム戦争泥沼化、

ユーに応える言語学者ノーム・チヨムスキの舌鋒は峻烈。アメリカは「テロ国家の親玉」、「国際司法裁判所が国際的テロで有罪を

である。国連総会が国際テロという悪疫を極めて強く非難し、すべての国がその克服に強力な行動をと呼びかける決議を採択したとき（一九八七年十二月）、賛成一五三、棄権はホンジュラスの一、反対はアメリカとイスラエルの二であった事実を想起させ、アメリカが気に障った文面はここだと指摘する。「本決議のいかなる条項も、いかなる方法によつても、力

ずくでその権利を奪われている諸民族の、とりわけ植民地および人種差別主義者の政府の下や、外国の占領その他植民地支配の下にある諸民族の、国連憲章に由来する自決権、自由と独立を傷つけることはできない。また、「国連憲章および国際法のその他の原則に従い」これらの諸民族がこの目的のために戦い、支援を求め、受ける権利をそこなうことはできない。」

分別や慧眼をリー議員やチヨムスキ博士と共にすることは少なくない。「京都議定書」「対人地雷禁止条約」「包括的核実験禁止条約」「弾道弾迎撃ミサイル制限条約」「国際刑事裁判所設置条約」など、これらは、昭和天皇の短歌を「御製」と呼ぶ忠君愛國の臣民ぶりを恥知らずにも誇示し、厚かましくも「日本国憲法のもと」牽強附会して、

憤怒するのが人間として尋常の感覚ではないか。事実、同盟国を含む多くの国から激しい非難を浴びた。

しかし、アメリカの言動を「一

国独歩主義」「ユニラテラリズム（自國優先主義）」と名づけるだけよいのか。「一極主義」「霸

權主義」も草の根運動の中では分かりにくく。

二〇〇二年一月二九日、ブツシ

ュは一般教書演説で、生物化学兵器や核兵器など大量破壊兵器を追求する容疑で朝鮮民主主義人民共和国・イラン・イラクを「悪の枢軸」と見、これを壊滅させる戦争の用意があり、フィリピン、ソマリア、ボスニア・ヘルツェゴヴィナにテロリストが活動しているとして必要と判断すればこれらの地域にも戦争を拡大すると脅迫。まさしく、アメリカこそは「テロ国家の親玉」であり「ならず者国家」。

二月四日、施政方針演説で小泉首相は、昭和天皇の短歌を「御製」と呼ぶ忠君愛國の臣民ぶりを恥知らずにも誇示し、厚かましくも「日本国憲法のもと」牽強附会して、無法者アメリカの盲従的家來よろしく報復・干渉の戦争と脅迫への献身を誓い国内有事法制の確立を志す。テロを憎むも戦争を好み、

燎原

被爆者を追悼するも核兵器即時廃絶を求める、「英靈」に感謝する

も治安維持法犠牲者への国家賠償

を拒み、沖縄県民の負担軽減を口

にするもサンゴ・ジュゴンの美ら海を新鋭巨大軍事基地に化す。「現

下の難局に雄々しく立ち向かって」

とは実は破局の偽装ではないか。

旱魃と戦火に震える子どもたちに広域破壊高性能爆弾「デイジーカツタ！」を落としまくる残酷非道を責めもせず、「こどもたちの未来のために」と演説を締める偽善。私の怒りは沸騰する。

二月四日に閉幕した世界経済フォーラム年次総会で、アメリカの最近の動きを手放しで支持する声は少なく、先進国と途上国との間の格差は正や貧困国対策を求める動きが目立ち、アナン事務総長が市場万能主義や一部投資家にだけ有利なグローバル化を批判した、と『毎日』の記者は書き、「赤旗」

に掲載の『時事通信』は、アナン演説は、経済のグローバル化自体は悪ではなく貧困や社会悪の根源ではなく、それらを克服する最大の希望をもたらすものだとし、現実には、貧困などの原因になつている面もあり、抑圧された人びとにも恩恵が及ぶよう先進国や企業が行動で示すよう求めた、と書く。

報道の差が気になる。

九・一の衝撃は大きく、研究者の見解を聞く場に足を運んだ。

国際法、国際政治、西洋史、宗教

学、イスラーム学、アラブ文学の

研究者たち。それぞれ学ぶところ

はあった。一月十九日の『燎原』新春例会での藤岡惇教授の講話「テロと戦争の応酬をどう克服するか」は圧巻。発声法に難があるもの、用意された配布資料の豊富さ、レジュメの構成、つまりは講話の展開順序の吸引力の強さ、そして何よりの魅力は、彼の視野の広さと問題意識の深さと課題提起の鮮明さ。経済学と平和学の造詣の基底にある人間学の鋭さと言えるだろう。

ユネスコ憲章は「戦争は人の心

の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和の砦を築かなければならぬ」と宣言し、四〇年後の一九八六年、諸科学の賢者たちは「暴力についてのセビリア声明」で、戦争は生物学的必然ではないと論証した。パキスタンの大學生の原子核物理学理論の教授ペルベズ・フッドボイ氏も言うように、「テロリストたちもごく普通の人間として生まれてきたはず。何も

悪魔へと変貌してしまったのだ。」

その何ものかとは、「超大国の無関心と抑圧と政治姿勢」に他ならず、それこそが彼らに深い憎悪を増殖させて惨劇の犯罪に駆りたてたのだ。

ブッシュが真にアメリカ独立宣言を誇りに思うなら、すべての人が生まれながらに平等であり、すべての人が生命・自由・幸福の追求を享受する権利を有するという、根本的かつ普遍的原理に立ち戻つて、「世界の人びと、殊に米国が虐げてきた人びとの関係を再構築することこそが、米国が安全を確保する道」と自覚すべきなのだ。

国家的テロに他ならぬ核兵器使用の可能性を否定しないブッシュは、ローマの大戦の罪をキリスト教徒に負わせて迫害したネロの悪虐に勝るとも劣らない。小泉また然り。

ユネスコ憲章は「戦争は人の心

の中では、弱い状態・立場における人、権利を剥奪されている人には無条件で手を差しのべることが、イスラーム的義務とされ、全世界のムスリムはアラビア語で「アッサラーム・アライクム（あなたに平安を）」

と挨拶をかわし、森羅万象は人間と対等の立場で存在し、人間は自然を支配するのではなく共存できる

だけである、と信じるイスラーム。

大量破壊殺傷兵器と情報技術網で宇宙までも軍事的に支配し、ドルによる経済のグローバル化で地球をまるごと制覇する、これはアメリカ優越主義に根ざす奴隸制イデオロギー。こういう文化は理解しがたいと断じるアメリカ先住民、「命どう宝」に生きるウチナンチユーこそ文明人。ブッダの「アヒンサー（不殺生）」、ガンディーの非暴力、「独立と自由ほど尊いものはない」を信条としたホーリ・チ・ミニ、キリスト教の本道に徹し非暴力直接大衆行動を率いたキング牧師、「世界がぜんたい幸福にならぬいうちは個人の幸福はない」と書き実践した宮澤賢治にこそ、人間本然の観智がある。

だから私は、恐るべき野蛮兇暴の奴隸制度を赦さない。

だから私は、市場原理主義を信じない。経済のグローバル化が貧富の格差を拡大し環境荒廃を深め経済矛盾を激化させ政治的不安定を高めるとの藤岡教授の論に共鳴する。弱者淘汰とはヒューマニティ抹殺・文化否定・野蛮謳歌。「マ

ルクスとガンジーとを重ね合わせる。弱者淘汰とはヒューマニティ抹殺・文化否定・野蛮謳歌。「マ

ルクスとガンジーとを重ね合わせた『エコ・人間中心の政治経済学』の形成に期待してやまない。

すべての学問研究は、畢竟、万

人の福祉に貢献すべきものであり、しなければならない。無知と無関心と傍観を自戒する日々である。

(すだみのる 立命館大学名誉教授
宇治市在住)

民主主義運動は、全世界の人民が「ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利」を保持するために、「不斷の努力」を

京都・府市民団体協議会

二十五年の歴史(二)

田中 弘

七〇年知事選圧勝の興奮冷めやらぬ七一年、革新京都市政の二期目の市長選挙がやつてきた。

誰もが再選を願っていた富井市長は無情にも病に倒れてしまつた。

この後政界は混迷の極に達した。

府市民団体はこの混迷の渦の中に身をさらし、市民の立場ですつきりした選挙ができるよう骨を折つた。

糾余曲折はあったものの、京都市助役の船橋求己氏を統一市長候補に、社共統一を守り抜くことができた。府市民団体は明るい民主市政をすすめる会の協定書に調印する条件として、「会」の継続を強く要望した。その結果、協定書

の議事録確認事項に、「会の継続活動」が明記されることになった。

市長選挙は、「市民党」や「革新」を僭称する白いブレザーの永末英一候補(民社党衆議院議員)を相手に闘い勝利した。

選挙結果 二月二十一日

船橋求己 三一万〇、五九〇票
永末英一 二八万八、四八二票

一つは、一九七三年(昭和四十八)三月二十五日、府立大学グラウンドで開かれた3・25京都府民総決起集会のことである。府市民団体幹事会はこの集会に参加するかせぬかで、真二つに割れて大討論した。反対派の意見は、集会が統一に役立たないというものであり、賛成派は、逆に役立つ、というものであつた。結論は出ず、それぞれが信ずるところに従つて行動することになつた。

二つは、一九七三年十月十八日に開かれた明るい民主府政をすすめる会存続問題検討小委員会の開催問題のことである。堀江友広氏によつて突如小委員会が召集され、

脅威を感じた反動勢力が、革新分断という新手の戦術で挑んできた時期もある。府市民団体の周りにも、何かしら重苦しい雰囲気が漂つた。

これに対しても、中野信夫府市民団体幹事長や谷内口浩二「会」事務局担当常任幹事らも記者会見し、慣例を無視した小委員会の開催を強く批判、「小委員会の開催を公式のものとみなさない」と発表した。蜷川七選支持勢力内部に亀裂が生じたかのように見えた危険な瞬間である。

「会」存続問題検討小委員会の開催問題をめぐつて起こつた民主勢力内部の亀裂を克服するため、府市民団体は十月二十三日、第二十回全体会議を開き、蜷川七選は天の声と蟻川知事に七選出馬を要請した。これが烽火となつて、その後京都中に「蟻川七選出馬要請」の大運動がまき起つた。それはやがて統一選挙母体の確立へと発展していった。

七四年知事選挙は社会党京都府

燎原

本部委員長の大橋和孝氏（後に除名）を相手候補とする複雑な選挙となつたが、選挙母体は社共両党を含む明るい民主府政をすすめる会にすることができた。

七四年知事選挙の結果は、蜷川候補五二万三、七〇八票、大橋候補五一万九、二〇八票、その差四、五〇〇票であつた。どんな取りこぼしも許されない厳しい選挙であった。

選挙結果 四月七日

蜷川虎三 五二万三、七〇八票
大橋和孝 五一万九、二〇八票

一九七五年は京都市長選挙の年

である。七四年知事選挙で最高の連合軍でのぞみながら敗れた自民党・反動勢力の次なる作戦は、独自候補の擁立をあきらめ、船橋求己京都市長を推薦することによつて、民主市政をまるごとじわじわ変質させていくことであつた。

明るい民主市政をすすめる会代表でもある中野信夫氏をはじめ府市民団体幹部の多くは、正月返上で統一選挙体制確立のために奔走した。だが話は一步も進まなかつた。

一九七五年（昭和五十）一月二

十四日に持たれた船橋京都市長と府市民団体幹部との懇談の中で、船橋市長は「社・共がまとまればそれに乗る、協定も結ぶ、まとめてほしい」と、悲痛な表情で語つていたが、結局市長選挙は船橋市長が独自に発表した「声明」と「基本政策」にもとづく前例のない五党推薦・支持の残念な選挙となつた。

市長選挙の結果、船橋市長は一八万五、一七八票で再選された。投票率は一九・五〇パーセントであつた。（他の候補は、高田ガン、ますだ真一）

一九七五年は京都市長選挙の年である。七四年知事選挙で最高の連合軍でのぞみながら敗れた自民党・反動勢力の次なる作戦は、独自候補の擁立をあきらめ、船橋求己京都市長を推薦することによつて、民主市政をまるごとじわじわ変質させていくことであつた。

府市民団体は明るい民主府政をすすめる会の再開にむけて努力したが、社共の話し合いは膠着状態で打開の展望は見えてこなかつた。焦燥と苛立ちが高まる中で、「会の再開に反対の団体はほつておいて直ちに会再開に踏み切るべきだ」との議論も聞こえてくる。

府市民団体は沈思黙考の末、中

野信夫会長の提案を満場一致で決定した。山登りのベテランは道に迷つて自信を失くした時は、確實な地点まで戻つて再出發する。社会党が明るい民主府政をすすめる会（民主府政の会）を否定している時に、民主府政の会にこだわっていたのでは統一選挙の可能性は生まれてこない。「確実な地点」とは何か。住民自治の原点にたちかえり、府民の知事を府民の手で選ぶ選挙母体を一から作ることである。住民＝町衆が主人公の選挙の呼びかけである。この提案は蜷川民主府政の継続を願う人々の間に、千天の慈雨のようにしみこみ、広がつていった。それはやがて町衆選挙の母体、「憲法を暮らしに生かす民主府政を発展させる各界連絡会」（各界連）へと結実してあつた。

七八年十二月には沖縄県に自民党政が復活、翌七九年四月には、大阪府知事選で黒田了一知事が敗れ、東京都知事選で太田薰氏が敗れた。今にして思えば労働戦線をも巻き込んだとしてもなく大きく底深い革新分断の作戦が仕掛けられていたのである。

七八年十二月には沖縄県に自民党政が復活、翌七九年四月には、大阪府知事選で黒田了一知事が敗れ、東京都知事選で太田薰氏が敗れた。今にして思えば労働戦線をも巻き込んだとしてもなく大きく底深い革新分断の作戦が仕掛けられたものとして正式に承認された。町衆選挙は燃えに燃えたが、杉村敏正候補（京都大学教授）を当選させることはできなかつた。民主府政の落城である。

選挙結果 四月九日
杉村 敏正（共）

四三万三、九三一票
山田 芳治（社公民）
二〇万四、四一九票

五〇万二、一七五票
林田 悠妃夫（自）

自民党戦略の基本は一貫した革新分断にあつた。表では社公民の山田候補に乗るかのボーズを取りながら、裏では前尾繁三郎氏などが東京で反共統一戦線づくりの相談を公・民と続けていた。山田候補が反共反蜷川を掲げて立候補するのを見届けてから林田候補の擁立に蹄み切つたのである。（前尾繁三郎著『政治家の方丈記』）

七八年十二月に行われた京都府長選挙では、再び船橋求己市長選挙は燃えに燃えたが、杉村敏正候補（京都大学教授）を当選させることはできなかつた。民主府政の落城である。

役が、自社公民共相乗りで当選した。これらの市長選挙でも府市民団体は全力をあげて社共統一選挙となるよう力を尽くしたが、それ

らを実らることは遂にできなかつた。

(たなか ひろむ
元京都府市民団体協議会事務局長)

自分史の五〇年（一） —共産党物語り—

清水 新一

関電時代

一九四七年昭和二十二年から始まる。私が関西配電株式会社に就職した頃からレッドページで解雇された頃までと、ページ以後のミレー書房の時代である。

昭和二十年の終戦から二十一年

秋までの一年半は復員業務のため、乗組んでいた駆逐艦椎を輸送艦に改造して、フィリピンのルソン島、マニラ、レイテ湾、中国上海から、旧満州のコロ島、釜山などから軍人や軍属一般の引き揚げ者の輸送に当たっていた。一九四六年秋十一月特別輸送艦椎を降りて復員した。

一九四八年の夏、関西配電京都支店に就職した。二十二才。

電路課保線所の地中線係は一日中屋外の仕事である。この時は国道一号線の道路に二万ボルトの特別高圧ケーブルを通す仕事であった。毎日横大路変電所や国道十一条オート三輪車に乗って出かけた。その他発電所や変電所の立上

りケーブルヘッドの修理や保線整備の作業である。落雷でヘッドが破壊されたり、ケーブルがショートしたり、全市内を一〇人足らず

労働組合との出会い

日本電気産業労働組合京都支店分会との出会いは、私の人生に大きな転機を与えた。

事務員の儀我君が園生の受付や生徒の世話をしていた。

本科と研究科があり、佐々木時雄さんが事務長で教科の日程を組

の職員で駆けまわるので、人手が足らない日が多くた。府立植物園はアメリカ兵の住宅として接收されていた。こここの電力は地下ケーブル線が引かれ最高の設備であった。雨が降れば屋内で工具の整備作業などで過ごすために骨休めになつた。

この職場には昔からの職人気質が支配していた。技師、技手、工員と言う職階制があり、軍隊のように古参者と新参者の区別が歴然と支配している職場であつた。

工事班長が職場長である。彼は五十才近い男で仕事に忠実なあまりゆうすうがきかないでの堅パン、と言うあだ名が付いていた。彼のような昔気質の会社に忠実な男が昇進してきた時代であつた。

就職した翌年労働組合の役員選挙があつた。日頃の家父長の職場の雰囲気を変えようと、私は職場の民主化を掲げて組合役員に立候補した。世の中がどうなつてゐるのか、右も左も何も分からぬ私は恐いもの知らずで分会の執行委員になつたのである。

京都人文学園は人文科学を一流大学の教授陣がメンバーとなつて講義が組まれていた。一クラス三百人前後で、三クラスあつた。場所は北区小山内河原町についた。當時は上京区賀茂川の堤防北山橋の西側である。

事務員の儀我君が園生の受付や生徒の世話をしていた。

本科と研究科があり、佐々木時雄さんが事務長で教科の日程を組

労働組合に出るようになつて、戦後の社会がどう動いているのか、歴史はどうだつたのか、人間社会の解明を求めて学習意欲が沸き上がつて来る毎日であつた。

京都人文学園

一九四九年昭和二十四年、新村猛名大教授が主宰する京都人文学園は、羽仁五郎のユニークな自由学園方式をモデルに国の中学校制度に拘束されず、若者の民主的学習意欲を掻き立て満たしてくれるものであつた。資格も何も望まない

好学の志に燃えた若者男女が集まつて來た。軍國主義教育で固められた私には新鮮な人間の心が蘇つて、戦争で命を落した若者たちの無念さを思い、生き残った幸せを感じ持つて受け入れた。

燎原

んだり、講師の手配などをしていった。講義は末川博さんの民法、河野健二さんの西洋史、細野武男さんの社会思想史、桑原武夫さんのフランス文学、和田洋一さんのドイツ文学、堀江英一さんの西洋経済史、北野雅夫さんの西洋美術、藤谷俊雄さんの近代史、高橋庄治さんの哲学、鳥泰彦さんの経済学など、当時では一級クラスの講師陣であった。

軍国主義教育を受けた者には斬新な民主主義と、物の見方考え方で毎日が感動と充実感で、民家を改造した学園に通うことが楽しみであった。

新村猛さんの講義は反ファシズム統一戦線で闘つたロマン・ロランの話が中心であった。

宗教を越えてヒューマニズムの立場でヒトラーの非人道的な皆殺し作戦と闘つた話。本当の勇気とは何かを問われる。若者の心に響くものがあった。男女共学だった恋が芽生えて幾組かのカップルが生まれた。いろんな青年との出会いがあり、中でも驚いたのは畠山君であった。彼は単身東北の宮城県から出てきて突然人文学園に飛び込んできたのである。

住む所もないのに飛び込んで来たので事務の儀我君が当惑して取

り敢えず学園の一室に寝泊まりすることになった。そこには無鉄砲とも言える若者の姿があった。この年は日本の民主主義が花開いた年であった。

共産党との出会い

この年、共産党の国会議員三十名が衆議院で当選した。職場でも賃金闘争と民主化闘争が主流となり、電産の労働組合は全国の労働運動のトップを行く労働組合になっていた。九つの配電会社と日本発送電株式会社の職員が一つの労働組合に統一されたので大きな力を發揮することが出来た。

組合は賃上げと職場の民主化要求を掲げて、要求実現のためストライキで闘つた。これが伝家の宝刀と言われる停電ストであった。

戦後の経営者たちは全国統一の労働組合を相手に闘つた経験が無かったので、組合の要求を呑んで賃上げに応じた。

当時、電産京都支店分会は丸物百貨店の六階に借家住まいであった。元の関電ビルはアメリカ占領軍が接収していた。私は常任執行委員となり、地下線の現場を離れて組合専従員となつた。こんな行動が職場の保守的な管理者から見

い。労働組合活動は共産主義の学校だと言つたレーニンの言葉を思い出した。

そんなある日職場の共産党員から入黨の要請を受けた。職場には共産党の経営細胞があり、昼夜休みに入つて活動して欲しい、情勢は働く者に明るい未来が待つている。

革命は近い。などと未來の展望を語つた。

メーデーには平和と自由と民主主義、民族独立の旗を掲げて行進した。若者たちは戦争の暗いトンネルを抜け出し、これから行く先を差し示した日本共産党的政策に共鳴した。私はしばらく考えさせてほしいと言つてその場は済ませた。

一九四八年十月私は入党した。昭和二十三年当時の共産党はどんな姿であったか。

日本帝国主義の敗北によつて国民が平和と民主主義を取り戻した。

この時、職場の共産党員は公然化せよ、と言う中央委員会の指令が出ていた。後にこれが野坂理論の誤りとしてコミニンフォルムから批判された。当時の共産党は下部の組織まで眞実が伝わらないことがあった。

レッドバージーの日

しかしアメリカ占領軍、G H Qは朝鮮動乱に備えて報道関係者をトップに鐵道運輸通信など、基幹産業から共産党員を排除することを決めたのである。

メリカ占領軍司令官マッカーサーの命令によって中止させられたのである。一九四九年から五十年にかけて、私は激動の時代を駆け抜けていたのであつた。

一九四九年の夏、共産党は恐ろしいと言うイメージを植え付けるために、下山、三鷹、松川事件が起ころ。権力が仕組んだ卑劣な犯罪事件として今後も教訓として忘れることが出来ない。どの事件も電車や列車を使ったものであり、共産党員がやつたようにマスコミたちは書き立てた。

レッドバージーの前に仕組んだ世人論を作る、手の込んだものであり、日本人では考えられないものであった。

この時、職場の共産党員は公然化せよ、と言う中央委員会の指令が出ていた。後にこれが野坂理論の誤りとしてコミニンフォルムから批判された。当時の共産党は下部の組織まで眞実が伝わらないことがあった。

アメリカ占領軍、G H Qは朝鮮動乱に備えて報道関係者をトップに鐵道運輸通信など、基幹産業から共産党員を排除することを決めたのである。

情勢は急速に変化して労働運動のなかに社会民主主義者の政党勢力が現れてきた。職場にも電産民主化同盟、略して電産民同と称した。赤色革命を阻止せよ。共産勢力の独裁を許すな。彼らのスローガンは共産党員を排除せよ、と労働組合を分裂させる戦略を掲げたのである。

彼らとよく議論したとき、彼らは共産党はプロレタリア独裁を主張しているではないか、そんな党が民主主義を言うのはおかしい、と言った。確かにプロレタリア独裁とあるが、それは階級の独裁だ。個人の独裁ではない、と言って反論したことを見いだして苦笑するのである。

民間幹部と会社の幹部が結んで職場の共産党員のリストを作り、ページを準備していた。労働組合が分裂しなければ簡単に大量首切りは出来なかつた。

この時、アメリカ占領軍を解放軍と受取り、一時期、手放しで歓迎した日本共産党の政策にも甘い見方があったのではないかと思う。六月二十五日韓國軍と北朝鮮軍が三八度線で衝突して朝鮮戦争が始まつた。

四九年の中国社会主義革命に驚いたアメリカ軍は帝国主義の牙を開かれ、記録は第七回(十月二十

むき出しにして朝鮮人民民主主義共和国、北朝鮮に出兵したのである。その時の大統領トルーマンは海空軍に出撃を命じた。

一九五〇年八月二十五日 電産のレッドページが発表された日である。

私は緊迫した情勢を感じて四月に組合の専従を降り、現場に返つて勤務していた。

(北区在住 しみず しんいち)

小泉首相は「構造改革まで二〇二〇年まで」とあります。経済危機は回避できるのでしょうか。小泉首相は「構造改革まで二〇二〇年まで」とあります。経済危機は回避できるのでしょうか。

大統領は最も危険な戦争への道をまきました。また企業の三月決算等は務省とのくされ縁も明らかになりました。また企業の三月決算等はせまつてきます。経済危機は回避できるのでしょうか。

大統領は最も危険な戦争への道をまきました。また企業の三月決算等は務省とのくされ縁も明らかになりました。また企業の三月決算等はせまつてきます。経済危機は回避できるのでしょうか。

前号の訂正補筆

小野喜三郎先生から、訂正の要請を受けました。

(2) ページ四段目の後ろから十行目、(3) ページ一段目の五行目に「性学読書会」の部分です。「小野先生は、三高生の時、石橋先生に誘われた京大生物教室の『談話会』で、何度も山宣さんが当番で報告されたのを聞いた」と訂正します。

おわび

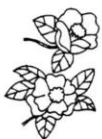
前号の表紙に会員の年頭のあいさつで、高野源次さんのお名前を源治と川合葉子さんを河合葉子とあやまつて記しました。おわびと同時に訂正させて頂きます。

性学読書会は一九二二年三月に安田徳太郎と相談して動物学教室と医学部の有志に呼びかけた学際的な研究でした。第一回目は四月十四日(金)に京大学生集会所で、京大以外の参加者も含めて十名で開かれ、記録は第七回(十月二十

編集後記

三年の我慢」といいますが、失業保険は半年きり。後はどうしろといふのですか。いわんや新卒の就職率が七〇パーセント代ですが、彼らには失業保険すらありません。すこし歴史の知識のある者にとつて、大恐慌初期アメリカのフーバー大統領の無策と小泉首相がダブッて見えます。しかも現バッシュ体制で見えます。大統領は最も危険な戦争への道をばく進し、日本はその後をついていきつつあります。今こそ歴史に学ぶべき時でしょう。

今号は力のはいった原稿がそろいました。須田氏の原稿は、新春例会での藤岡報告に関する感想です。会員の皆さま方の積極的な投稿を待望します。――知事選を目前にして――。



TEL FAX ○七五七二二一三八一三	会および会報について は、 左記へご連絡下さい。 〔事務局〕 〒六〇六一八一〇七 京都市左京区高野東開町 一一三 第三住宅 三三一三〇二 井手 幸喜
---------------------------	---